

令和2年度 はごろも小学校の取組み

1 研究主題名

主体的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成
～「聞くこと」から「話すこと」への接続を目指した言語活動の工夫を通して～

2 研究主題設定の理由

宜野湾市の小学校英語教育課程特例校事業の計画に基づいて、ALT・JTEが配属され、今年度から5・6学年は教科化、1～4学年は外国語活動としての授業が行われるようになった。

昨年度の児童英検の結果が5・6学年それぞれ90%・85%で、全国、市の正答率を共に上回っている。このことから、児童は「聞くこと」には慣れ親しんでいる。

しかし、聞く能力だけでなく、話す能力の育成も必要となってくる。そのためには、「聞くこと」から「話すこと」へ繋げるために必要な言語活動を身に付ける必要がある。

そこで、今年度、コロナ感染防止に取り組みながら、「聞くこと」から「話すこと」への接続を目指した言語活動を工夫し取り組むことで、主体的にコミュニケーションを図ろうとする児童が育つのではないかと考え、本研究主題設定をした。

3 研究の主な内容

(1) 目標 (小学校外国語活動学習指導要領より)

ア 聞くこと

(第1学年及び2学年) 基礎的な英語の音声の特徴に関心を持つこと

簡単な語句を聞き取ること

簡単な質問や依頼、あいさつがわかること

(第3学年及び4学年) 基礎的な英語の音声の特徴に親しむこと

基礎的な文を聞き取ること

基礎的な文で表される質問や依頼、あいさつがわかること

(第5学年及び6学年) 基礎的な英語の音声の特徴がわかること

自然な口調で話されている基礎的な英語を聞き取ること

基本的な質問や依頼、あいさつに応じること

イ 話すこと

(第1学年及び2学年) 基礎的な英語の音声の特徴を真似て発音すること

場面などに応じて、自分の言いたいことを簡単な語句で表現すること

積極的に話そうとすること

(第3学年及び4学年) 基礎的な英語の音声の特徴を意識して発音すること

場面などに応じて、自分の言いたいことや気持ちを簡単に表現すること

積極的に続けて話そうとすること

(第5学年及び6学年) 基礎的な英語の音声の特徴を正しく発音すること

場面などに応じて、自分の言いたいことや気持ちを簡単に表現すること

沈黙をしないで、聞き手にわかるように話そうとすること



- ① 英語学習への関心・意欲を培う
- ② コミュニケーション能力を高める

(2) 指導方針及び方法

- ①各学年の実態に応じた活動を計画し、これまで習得した基本的な語彙力や表現力を活かしなが
ら宜野湾市のHRTとALT・JTEとのチームティーチングによる指導を行う。
- ②週に1回程度、HRTとALT・JTEとの英語ミーティングの時間を設け、事前に授業の流
れを確認することで、連携して授業が行えるようにする。
- ③各学年の発達段階に応じて、歌やリズム遊び、ゲーム、場面にふさわしい簡単な挨拶等、体験な
活動を多く取り入れ、児童の興味・関心や意欲の育成に努める。
- ④行事や他教科と関連させ、身近な事柄について、英語活動を通して学ぶことで、より実践的な
コミュニケーション能力を養う。
- ⑤学習した英語を活用する機会をより多く設けることにより、英語を使ったコミュニケーション
能力を高める。
- ⑥HRTも共に英語を学び、楽しむ姿勢を見せる事、「児童の良さを見つけ、ほめる」を常に心け
る事で、安心して英語を話せるような雰囲気づくりに努める。

4 本年度の取り組み

(1) 授業の流れ

授業の初めと終わりは、全学年、HRT主導で行い、デモンストレーションから、児童にめあてを考
えさせ、振り返りでめあてが達成できたかを確認した。

Lesson Plan (2nd of 7h)

Aim: Ask each other what Olympics and Paralympics sports the students want to try and
answer it.

	Lesson progression	Student Activity	Instruction Notes
Intro 10mins	(1)Greetings ・Song ・Let's say it together	・Greetings	
	(2)Small Talk ・ Ask the students about sports and have a simple conversation with them.	・Listen to the teacher talk, react freely , and answer the questions.	・If the students reply with only words, the teacher should reply in sentence form.
	例 Hello. Do you like sports? Do you like baseball? Do you want to try? How do you say “donna sport ni tyousen sitemitaidesuka?” in English?		
	(3)Confirm the student's goal. Student's Goal: Ask each other what Olympics and Paralympics sports you want to try and answer it.	・Confirm the goal.	
Progression 15mins	(4)Game ・Ask questions.	・Guess what kinds of sport.	
	(5)Let's Listen2 p.67 ・Have them present the sports names and what they know. ・Have them listen to one scene at a time, and	・Look at the pictures on the page and present what they understood and know. ・Listen to one scene at a	・Have them listen once more and confirm the sports names.

	present what they understood about the good characteristics of the sports. ・Worksheet.	time and present what they understood about the good characteristics of the sports. ・Worksheet.	
Progression 15	(6)Activity1 p.67 ・Have them listen and confirm the content. ・Have them ask each other what sport they want to try.	・Listen and confirm the content of the conversation. ・In pair or groups ask each other what sport they want to try.	・Look for reactions and signs that were considerate of the speaker, as well as the attitude to try and continue the conversation, and praise them.
Summary 5mins	(7)Lesson Reflection ・Communicate what they did well. ・Have them complete the reflection sheets.	・Listen to the teacher's remarks. ・Complete the reflection sheet.	・Praise them for having an attitude trying to use English and continue the conversation.
	(8)Final Greetings	・Final Greetings	

新学習指導要領の実施に伴い、5つの領域の言語活動を通して、下記のような児童の育成を目指し、学習に取り組んだ。

3・4学年のテキスト「Let's Try」を活用した授業を行い、5・6学年は、「We can!」を活用し、机やいすのある各教室で、読むこと・書くことの活動に取り組んだ。

聞くこと・話すことの体験的な活動を大切にしながら、高学年は、中学校英語を意識した学習活動を行った。

	聞くこと	話すこと(やり取り・発表)	読むこと	書くこと
低学年	身近な外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ児童。			
中学年	外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ児童。(外国語学習への動機づけを高める)			
高学年	短い話の概要を捉えることができる。	言語活動を通して児童が簡単な語彙や基本的な表現を使って自分の気持ちや考えを表現できる。	簡単な語彙や基本的な英語表現の読み方を活字体の文字と結びつけて発音したり、4線の上に書いたりすることに慣れ親しむ。	

5 成果と課題・対応策

(1) 成果

- ・授業で学んだことを家庭学習としても取り組ませ、学びを連動させることができた。
- ・多くの英単語に触れ、会話の中で活用することができ、單元ごとの発表会では、自身をもって発表することができるようになった。
- ・表現したい内容をパソコンを利用し、調べたり先生に質問したりして英文にすることができた。
- ・ICT機器を活用した動画や図を用いて授業を行ったため、授業が視覚的に分かりやすく、興味を持って楽しく学習に取り組むことができた。
- ・歌やリズムに合わせて体を動かし、ゲームやクイズでは、楽しく英語に触れ楽しむことができた。
- ・JTEもALTも、ほとんど英語で話していたので、子ども達のリスニングの力がついてきた。

- ・フォニックスの練習や口の動きを丁寧に指導したので、発音の仕方を意識するようになった。
- ・JTEやALT教諭と事前打ち合わせの時間があり、共通理解が図られ、授業をスムーズに進めることができた。
- ・ABCの歌を取り入れ、楽しくアルファベットを覚えるとともに空書きを行うことで、アルファベットに興味関心を持たせた。

(2) 課題・対応策

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、マスク着用でフォニックスの練習や口の動きの指導が難しく、インタビューゲーム、ペアでの練習があまりできなかった。
 - 一人一人が活動できる場の工夫に取り組んでいく。
 - 状況を踏まえながら、フォニックスの動画などできることを検討する。
- ・授業開始時に、天気や曜日、自己紹介など基本的な内容を確認しているにも関わらず、個別に尋ねると戸惑いや答えられない児童がいる。
 - 次年度は、全体から個別に天気や曜日などを尋ねて答えられるように取り組んでいく。
 - 英語の時間だけでなく、朝の会などで取り組んでいく。
 - 定型文を繰り返し練習することで習得させる。
 - 活動前に、全体で確認したり、個別に支援したりして自信を持って取り組めるように工夫する。
- ・理解力に差があり、英語に対して自信が持てず、学習意欲の低い児童がいる。
 - ゲームや活動前に、個別に支援し児童が興味を持って取り組めるように工夫していく。
 - 一人一人が活動できる場の工夫に取り組んでいく。
 - 状況を踏まえながら、フォニックスの動画などできることを検討する。
- ・アルファベットのかき方や語のまとまりに意識して書くことに慣れていない。
 - 毎時間、書く時間を設け、書くことに慣れさせる。
- ・発表などが特定な子になりがち。
 - 発音や会話練習を取り組ませ、励ますことで自信を付けさせる。